

「バスケの街づくり」新計画の 方向性の検討結果について

平成23年4月

(仮称) バスケの街づくり推進会議 準備会

1 新計画の方向性の検討にあたって

平成23年度の「バスケの街づくり」新計画の策定にあたり、(仮称)バスケの街づくり推進会議の準備会として、平成22年10月から平成23年4月にかけて、4回にわたり計画の方向性を検討した。

検討にあたっては、現行計画の取組状況や目安となる指標、実態調査結果や市民からの意見・提言などを参考にしながら、「競技力向上」「地域活力」「市民文化」の3つの視点で協議を進めた。

2 新計画の方向性の検討結果

新計画の方向性として重要と思われるものについて、全般的な事項、3つの視点における事項として、それぞれ下記のとおり取りまとめた。

なお、検討過程で協議された内容は、別紙のとおりである。

【全般的に重要な事項】

○「情報共有・発信」と「情報拠点」

団体・機関同士が情報を共有して発信する。情報拠点となる場を確保する。

○「推進体制」と「連携」

推進体制(組織)をつくる。団体・機関同士が連携する。

○「能代カップ」の位置づけ

恒例となっている「能代カップ」をまちづくりの観点で位置づけする。

【3つの視点において重要な事項】

○強いバスケ、そのための指導者育成(競技力向上)

○全国にPRできるバスケ、そのためのシンボルやキャラクター(地域活力)

○市民が楽しめるバスケ、そのための市民参加のストリートバスケ(市民文化)

分類

現状と課題
＜いま＞

担い手・役割(資金)
＜私たち＞

施策(事業・活動)
＜すること＞

目標 ゴール
＜のぞみ＞

指導者育成
審判
クリニック

他県のミニバス指導者から、能代は父兄がとても熱心で、協力的であると言われた

ミニバスの指導者層が広がっている

競技力向上、中学生のレベルアップには指導者の頑張りかな？

ミニバス及び中学校のレベルアップが進んでいない

バスケの練習試合で、審判の帯同がむずかしかった

小・中・高の連携事業を使って小(ミニ)中のクリニックを継続して行う(統一した形で)

秋田県教委と能代市教委の連携で(小・中・高の強化)

バスケの教育・指導体制をつくる

高校の指導者や選手による中学校、ミニバスのクリニック(月1回程度)会場輸送の確保

市内全小学校でのミニバス教室の開催(市が負担し働きかけをする)

【重要】指導者育成

幼稚園・保育園 小1~3年からバスケットに親しませる。指導はボランティアに

幼・保・小の低学年指導のためのクリニック(指導者養成)

小学校低学年の授業にバスケットを取り入れる(体育でなくても)

小学生からバスケ必修の時間を作ってあげればよいと思う

小学生のときからバスケットボールに親しめるような教育をする

勝ち負けにこだわらず、正しい技術を指導できるミニバス指導者の育成

チーム・学区にこだわらず、楽しくバスケットをできるミニ！

専門的に技術指導・生徒指導ができる中学校教諭の配置

中学校の学校枠を取り払った合同練習(将来統合?)

地域のレフリーの技術向上への取り組み

競技人口 ミニ・中学・高校・一般

競技力向上カテゴリー(ミニ・中学・高)による目標設定

招待試合
強化練習

小学生レベルでの全県選抜合宿のような企画は無理か

中学バスケットは三郷町(琴丘)が交流試合を含めて多い

アリナス主催(中バス合宿大会)

ミニ連中体連高体連

企業(スポーツ関係)冠大会にする

ミニバスの強化練習

中学校の強化練習回数を増やす

郡市外チームを含む招待試合の開催

招待試合を多くする

強いバスケットチームがある。活躍している(小・中・高・プロ...)

大会誘致
費用負担

会場費用を確保するのがむずかしい

冬季だけのために用具をそろえるのは親の負担が大きい(ミニバス)

バスケット募金箱をコンビニ等に置いてもらう

市で大会費の援助等積極的に行う

何をやるにも資金。既存の予算ではムリ。全国に篤志を募る(基金)

・大会会場にバスケット募金箱の設置・協賛金をつくる＝広告料の使い道

大会誘致

一般チームを作る。能代工業に頼るのではなく、小・中・高が頼るようなチーム作り(市役所チーム?その他)

工業高校
バスケ部

能代工業のネームバリュー

なぜ「バスケの街のしろ」なのか?

競技力が高いから。結果＝全国優勝があるから

「結果」を求めるために何が重要か! 結果をチームだけに求めるのか?

バックアップは誰が? 市? 金銭的なバックアップ 人的なバックアップ 物的(設備)なバックアップ

バスケの街サポータークラブのような、全国的に会員を

もちろんチームとしても最大限努力をする!

【重要】強いバスケ

“19年国体”を目指したときのよう な共通スローガンを掲げて一致団結を図る

練習場所

練習会場が不足している(同じ時間帯に集中)

練習場所不足(中学校の体育館)

市の施設を優先的に使用してほしい

市教委(練習場所確保 中→小学校体育館)

総体(能代・二ツ井)、ライン引き(常にコートが引かれている)

サブマリン球場のようにバスケット専用の体育館!

能代カップ
(1)

能代カップと同じ日にミニバスの試合がありますが、ずらせないものか

能代カップの国際化がみえない

総体とアリナスのシャトルタクシーなど実現できないか?(能代カップ)

能代カップ運営方法。推進会議(市役所中心の活動を考える。)バ協単独事業をバ協協力事業にする。

市民主催(市民の募金・寄付)市民ひとり200円とか、ワンコインバスケットボール大会

能代カップの運営方法

能代カップは将来的には外国チームの参加を!

能代カップ出場の際に能代工業バスケの市内出身最低3人程度(メンバー)の確保盛り上げ

月に1回ぐらい常にどこかで3on3バスケットボールの試合が行われている(小・中・高)

アリナス
合宿

アリナス・体育館・宿泊

アリナス主催の大会数が少ない→宿泊者増につながらない

アリナスの合宿利用で圏内の利用が少ないのは当たり前かもしれないが残念。もっと優遇できないか?

【重要】能代カップの位置づけ

合宿に対する市からの補助制度があればよい

能代では(最高レベルの)試合を観戦できる

外部・OB
プロチーム

プロチームの活用 体・健康の管理・指導法・練習法、バスケットを遊びに取り入れる

実業団バスケットボールチームの発足

外部関係者、OBの意見を聞く

定期的にOBたちのクリニックを単発でなく続ける

(競技力向上)

分類

現状と課題 <いま>

担い手・役割(資金) <私たち>

施策(事業・活動) <すること>

目標 ゴール <のぞみ>

経済効果

バスケの街づくりが、どのくらい経済効果があるか分からない

バスケの関連グッズとPRが必要ではないか

バスケ関連グッズの開発と販売までの体制をつくる

グッズ販売をグループ化する、イベント時だけでもOK

バスケットボール等をイメージした食を考える(例えばダック焼そば)

タクシーのあんどんをバスケットのボール型にする

街中の電話ボックスの上にバスケットボールをのせる

バスケで食べている人がいる(グッズも採算がとれている)

(地域活力)

【特に重要】
情報共有・
発信、情報
拠点

観光協会との連携

商店街との連携、マップ作り

各組織の横のつながりを密にする

能代カップではお客様に街巡り、能代の観光スポットをアピール!

商店街等で地元のおいしいものを食べ歩ける策はないか(食べ物マップ)

(小中高)全国又は全国レベルの大会で地域の物産を販売できるようにする

“また能代へ来たい”と思えるような街づくり、人づくり

情報発信

今回の「チームやらねすか」の動画配信すばらしい。情報発信工夫必要

バスケの街のしる情報発信が少ない。何を知らせるか

バスケの大会試合ミニ・中学・高校一般の情報がない

大会の宣伝を2カ月ぐらい前から出来ないか?

バスケットボール協会でHPを運営し、情報発信、ボランティア募集

新聞、放送局 etcとの連携(協力)

市内での試合だけでなく、県内で行われる試合等のポスターをはりだす。情報発信

市内数カ所に大型モニター設置の広場を設け、常にVTRを流したり、PVできるようにする

各種大会のパブリックビューイング

バスケの街のイメージ・能代工業バスケット部・公園等のリング・シャッターアート

能代カップ

能代カップアンケート初日の午前中では2試合しか行われていない。その中で集計したデータで満足できるのか?

アンケート内容で車で来る人が多いなら駐車場をどう確保しているか? など、もう少し踏み込んだアンケートにするべき

能代カップポスターの販売できないか?

商店会連合で能代カップ期間に合わせた協賛、売出しを企画(魁新聞を使用)

アウトコート
の整備

市内(特に中心市街地)所要所に3on3ができる程度のスペースとリングを整備する(日常playする姿がある)

ストリートバスケット3on3の年代別競技の復活(能代市民限定?)小(低・中・高)一般、中1・中2・3、高校

街なかで自由に3on3が楽しめる場所をつくる

バスケのまちのしるが日常的に感じられる

屋外

ストバスに商店街の協賛と行政の支援(助成金)バスケ協力のマップパワー+ボラ

産業振興資金、助成金と企業スポンサー(ナイキ、アサヒ、コココーラ...)

行政(バスケットリング設置への助成 ※人目に付く場所へ)

アウトコート
の整備

市内(特に中心市街地)所要所に3on3ができる程度のスペースとリングを整備する(日常playする姿がある)

ストリートバスケット3on3の年代別競技の復活(能代市民限定?)小(低・中・高)一般、中1・中2・3、高校

街なかで自由に3on3が楽しめる場所をつくる

視覚的にバスケの街と感じられる(景観・オブジェ...)

情報拠点

バスケの情報を得るには、どこへ行けばいいか分からない

バスケットボールと能代をトータルで見れる(バスケの博物館)ところがほしい

担い手として若い年齢層の意見や要望を聴く機会を設ける

市・商工会・バスケ関係者が三位一体となり(人事の派遣)核となる組織を立ち上げる

事務局を作る(バスケット協会、市役所、会員等と橋渡し)

行政(推進組織として課・室の設置)

【重要】
市民参加のストリートバスケット

バスケの街と言ったら「ココ」と言える場所がある。共通認識できる。

(市民文化)

キャラクター

バスケの街の統一したシンボルマークがない

バスケの街といたときのイメージが一定でない

バスケットボールのキャラクターが必要(大館はハチ公)

【重要】
シンボル・キャラクター

バスケサポーターのしるは、街づくりの一翼を担えるのでは...

【特に重要】
推進体制・連携

能代駅から能工高までのルートバスケットストリートとして整備する(モニュメント等)

能代駅からのびる通りをそれぞれバスケットボールにちなんだ愛称にする

シンボルキャラクター「ダックくん」をスキッチやピッキーのように人形化(?)できないか...

市民一人ひとりがバスケの街と感じ、誇りに思っている(H22半分くらい)

健康

バスケ健康フリースロー大会、参加者が増えてほしい

年齢層にあった健康バスケットを「能代発」として研究する

【重要】
市民がバスケットに興味を持つ・親しむ・楽しむ

バスケットを愛し楽しんでいる市民を増やす

ボランティア

市民意識の向上

能代カップでの市民ボランティア少ない

能代カップのボランティアが少ない。市外県外からの募集できないか